



光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

6/22 (木) そよかぜ分教室で special 演奏会!

世界的なバイオリニストの五嶋みどりさん〔演奏参加したアルバム(2014)がグラミー賞を受賞他〕が病気と闘いながら学んでいる分教室の学園生のもとを訪れ、名曲を奏でてくださいました。さらに学園生からの質問も受けてくださり、「そのバイオリン(ガルネリ!)はおいくらでしょうか?」の質問には「お家4軒分位」とアンサー。また、「上手くなるには?」の質問には「何時でも目の前に観客がいるつもりで弾くことです。」と。ちなみに年間100回以上の演奏会に出演されているそうです。改めて本校分教室への御支援に御礼申し上げます。

6/15 (水) PTA主催校長講演会では…

先日、PTAの皆様が着任校長からのお話を聞く機会を御用意くださいました。校長からは「障害のあるお子さんにとっての学習指導の大切さ」について、「学園生の考える力を育てる―誰でも伸びる・必ず伸びる―」のテーマでお話をさせていただきました。

前半では「スモールステップを考えるためのQシート」をお配りし、記載の8問の回答について選択肢AとBではどちらが簡単か(学びやすいか)を考えてもらいました。問題の一例としては、「ボタンを留めることを身に付け始める学習の段階では、縦穴のボタンホールと横穴のボタンホールのどちらが簡単(適している)でしょうか?」特別支援学校の教員は「教える」専門職として、あらゆる場面で難易度を考えています。まだできていなくて、ちょっと努力や工夫すればできそうな設定や題材は何だろうかと探しています。大きな壁に見えることも、小さなステップに換えて刻んでいくことで、「できることが増えていく」ことを一緒に考えてもらいました。

後半は「国語・算数」の基となる学習について、教材(物)を見る・目で追う・手で取る・楽しむ・喜びを先生と分かち合う段階から始めて、形・大きさ・色(属性)の違いを見分け、指示された方を選ぶ選択=「同じと違う」の獲得に至る各段階、そこから複雑な図形である「ひらがな」の獲得へと繋がっていき、通常の教育の国語・算数の小1上巻に接続する道筋となっていきます。それは、保護者の共通の願いである「我が子には名前を読めてほしい・書けてほしい、話せるようになってほしい…」

に向かって階段を一步步登っていく学習でもあります。例えば、形の区別の学習として考えると「あ」「め」「ぬ」「ね」などは似たような紛らわしい形です。ですから、形の手がかりだけでなく、意味や音も理解に加えることで概念が確かなものになってきます。こうした個別指導を丁寧にする事で大きく変容した指導事例のVTRも取り混ぜながら説明しました。

本学園はこうした学びを重視していきますとお伝えした上で、学習会の予告も行いました。ぜひ多くの保護者の方に御参加いただけますようにと願っています。(別途、案内文書を9月に配布しますので詳細はそちらを)

保護者学習会 11/8 (水) 午前 (学校・PTA共催)

「考える力を伸ばすために～家庭での接し方～」

特別講師：つばき教育研究所理事長 宮城武久先生

これに先立って夏季休業中の8/2には、校内全教職員が必修の校内研修として、宮城先生を特別講師に迎え、個別指導の模擬指導演習を通して、考える力を伸ばすための指導技術と児童の学習心理について徹底して学び合う1日を設けました。

<予告>学園初の宿泊防災訓練 SB高2学年7/7・8

昨年度、両母体校では高1生徒を対象に計画しましたが、熊本地震に配慮し中止となった経過があります。光明学園として、今回はSB両部門の高2生徒対象に行います。この訓練は全学園生にとっても収穫があります。

■高2生徒の経験値向上…参加した生徒は経験値が増したことで、万一の時、この経験が生きます。

■学校がノウハウを蓄積…学校としても、様々なノウハウを蓄積でき、災害時の組織対応力が格段にアップします。非常食で賄うコツ、教室で就寝する際の留意点…

■他の学園生の安全度アップ…この訓練から得たノウハウが校内全教職員に共有されることで全学園生の災害時の安全度が向上します。

■地域との連携…消防署や警察、地域の皆様とも連携することにより、本校の特性や「福祉避難所」として地域に役立つ機能について理解を深めていただき、相互扶助のセーフティネットを強化できます。

校長 田村 康二郎

S部門 小学部 梅もぎ体験

5月30日火曜日、羽根木公園まで、S部門小学部全学年で梅もぎに行ってきました。当日は、天候にも恵まれ、さわやかな陽気の中、各学年それぞれにバケツやビニール袋等準備万端で、梅のほのかな香りをかきながら、期待して会場に到着しました。梅もぎ会場では、いろいろな団体さんと一緒に、係の方の諸注意や梅の木の割り振り等を聞いた後、いよいよ梅もぎがスタートしました。教員と一緒に長い竿で梅を狙って、上手について落としました。ブルーシートに落ちる音や転がっていく音も、みんなで聞きました。友達の名前を呼びながら応援する場面では、とても盛り上がり、みんなで楽しい梅もぎを体験することができました。お土産もいただいて、それぞれがお家に持って帰りました。授業で梅ジュースを作っているグループもあり、夏を乗り切るさわやかな味に仕上がるのが楽しみです。(S部門 小学部 自然教室担当 藤田 美津子)

S部門 梅丘中学校との交流会

6月8日木曜日にS部門中学部と梅丘中学校との学校間交流が行われました。今年度の交流は、パラリンピック正式種目である「ボッチャ」を共に楽しみ、相互のふれあいを通じて豊かな人間性を育むことをねらいとしました。梅丘中学校の1年生94名は、グループに分かれ体育祭で演じたダンスを披露してくれました。チームワーク良く始まりました。「みんなでボッチャ！」のかけ声でジャックボールを目指しボールを投げ合いました。梅丘中学校の生徒の約半数は代田小学校時代に本校の小学部との交流でボッチャに取り



組んでいました。その経験を生かし、投げたボールを梅丘中の生徒が拾ってくれたり、光明の生徒が梅丘中生徒を応援したりして、共に助け合い、支え合う姿がみられた心温まる交流会となりました。今後も2020年の東京オリンピック開催に向けて、スポーツを通じてさらに交流を深めていきたいと互いに強く感じた1日でした。

【S部門 中学部 遠 直美】

S部門・B部門 高等部 校外学習

6月8日木曜日に、高等部S部門・B部門合同で東京スカイツリーに校外学習に行きました。朝9時頃に出発し満員電車で揺られながら10時45分頃スカイツリーに到着しました。スカイツリーでは、両部門一緒に最新のエレベーターの技術を体験するとともに、地上450mの高さから見える展望を楽しみました。また、期間限定で行われていた進撃の巨人の特別企画では、大きな顔のオブジェや進撃の巨人の原画やグッズ等も見学しました。お昼は、ソラマチのレストランで、スパゲティーやローストビーフ丼等をみんなで楽しく食べました。お土産選びでは、それぞれ思いのお土産を選びました。合同の校外学習では、両部門が交流を深められる良い機会になりました。

(B部門 高等部 田中幸子)

S部門 高等部 仙台修学旅行

協力し合って絆を深め、形に残る思い出を作ろう。」この目標に向かい、S部門高等部3年生は、5月30日～6月1日の2泊3日で仙台・松島への修学旅行に行ってきました。

(新幹線「やまびこ」の前で)

最初に、大丸東京でフランス料理を味わいました。大人っぽい雰囲気のレストランと美味しい食事感激した後、待ちに待った新幹線への乗車です。この日のために、限られた時間の中で乗り込むための練習とシミュレーションを何度も繰り返してきました。生徒もなんだか緊張している様子…。全員が力を合わせて、無事に乗車ができました！

(「メルパルクホテル」にて)

2日目は、午前中に仙台市博物館へ行ってきました。兜をかぶったり昔のおもちゃで遊んだり、仙台の歴史についても学びました。また、堤人形の絵付けにも挑戦しました。事前に着物の色やデザインを決めていましたが、いざ人形を手にしてみると「難しい!」。絵具を混ぜて自分だけの色を工夫したり、髪型を個性的にしたり…。世界に1つだけの堤人形ができました。

(堤人形絵付け体験)

午後は、お土産を購入した後、松島遊覧船に乗りました。海風はとても気持ち良かったです。途中、船にカモメが寄ってきて、私たちを楽しませてくれました。

夜は、生徒自ら企画・進行のレクリエーションで盛り上がりました。「だるまさんの一日」ゲームや、この学年が毎回の宿泊で行っている恒例のダンス(今回は「マイムマイム」)を踊り、楽しかった2日目の夜が締めくくられました。

(マイムマイムを踊っている様子)

3日目の朝も、皆元気に目を覚ましました。ホテルでの最後の食事を済ませ、仙台駅へ出発。駅構内でお土産も無事に購入し、東京行きの新幹線に乗り込みました。昼食は、東京オペラシティ54階にある中華料理店「東天紅」で食べました。そこから眺める景色も、とても素晴らしかったです。

(ホテルで浴衣を着ました)

一緒に行くことのできなかつた友達に渡そうと、お揃いのキーホルダーを手に、無事に学校へ戻ってきました。新幹線の乗り降りや博物館での体験・レクリエーションなど、皆で協力し合って楽しく過ごすことができました。高3の一人一人が友達を思い、「絆」を深めることができた修学旅行は、いつまでも心に残る宝物となっています。(S部門 高等部 中川留美子)